

インプラントの画像診断ガイドライン改訂第1回委員会議事録

日時：平成23年（2011年）12月18日（日）11:00～14:30

場所：新潟大学東京事務所

〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6

キャンパス・イノベーションセンター東京 6階ラウンジ

TEL/FAX 03-5440-9081

出席者：内藤宗孝，河合泰輔，犬童寛子，林 孝文（順不同・敬称略）

議題：

1．インプラントの画像診断ガイドライン改訂について

- 1) 今回は時間の関係からマイナーチェンジとし、基本路線は継承し、Minds形式で継続することを確認した。
- 2) 改訂担当委員は、内藤宗孝，河合泰輔，犬童寛子，田中 礼，林 孝文の5名で分担して行うことを確認した。また、外部評価委員は改訂暫定版公表までにメール審議にて決定することとした。
- 3) エビデンスレベル・勧告の強さ（推奨度）については、現バージョンと同一とする（Minds形式）ことを確認した。
- 4) CQ（クリニカル・クエスチョン）については、「CQ: インプラント術前診断におけるMRIの役割はなにか？」は、MRIのインプラント術前評価において直近5年間での顕著な進展がみられないことが予想されることから、CQから削除し、この内容を「CQ: インプラント診断におけるCT以外の撮影法の役割はなにか？」に包含させることとした。それ以外のCQは維持とすることとした。
- 5) CQの文言修正について委員の意見交換が行われ、その結果、「CQ: インプラント診断におけるCT検査の測定精度は十分か？ また適切な撮影条件はなにか？」については、「CQ: インプラント診断におけるCT検査の測定精度は十分か？」とすることとした。また、「CQ: インプラント診断におけるMDCTとCBCTの物理的な性質は（距離精度，被曝量，画質）はインプラント診断に適しているか？」については、「インプラント診断においてMDCTとCBCTの適切な使い分けの基準は何か？」とすることとした。さらに、「CQ: 骨移植後の経過観察の時期や方法はどうか？」については、「骨移植後の経過観察の適切な時期や方法は何か？」とすることとした。
- 6) 各CQの担当者については、以下の通りとすることに決定した。
 - I - 3 . CQ: インプラント診断におけるCT以外の撮影法の役割はなにか？
田中委員（林委員長）
 - II - 1 . CQ: インプラント診断におけるCT検査の測定精度は十分か？

内藤委員

II - 2 . CQ: インプラント診断において MDCT と CBCT の適切な使い分けの基準は何か？

内藤委員

II - 3 . CQ: 骨質・骨密度は CT 検査でわかるのか？ またそれらは予後と関連あるのか？

田中委員（林委員長）

II - 4 . CQ: インプラントの CT 診断における望ましいステントはなにか？

河合委員

II - 5 . CQ: 望ましい画像データの取扱法や活用法（画像処理ソフトウェアを含めて）はなにか？

河合委員

II - 6 . CQ: インプラント周囲炎の画像診断として推奨される方法はなにか？

犬童委員

II - 7 . CQ: 骨移植後の経過観察の時期や方法はどうかあるべきか？

犬童委員

7) 今後の作業工程とスケジュールについて、以下を確認した。

各担当 CQ における現バージョンの GL の内容の検討

文献検索フォームの見直し・検索式の妥当性の検討：妥当であれば、同じ検索式で直近 5 年分を追加、妥当でなければ検索式を修正して 1995 年前後以降から現在までの検索を行い、採用と不採用に分ける

採用論文につき、追加論文の構造化抄録および抄録一覧表の作成

本文草稿 [1.はじめに 2.方法 1) 検索 2)結果 3.まとめとお勧め] 作成
エビデンスレベル分類

推奨度の決定

外部評価

・今後のスケジュール

2012 年 1 月～3 月

2012 年 4 月

2012 年 5 月（新潟）

2012 年 6 月（日歯放総会・盛岡）

2012 年 7 月～8 月

2012 年 9 月（口腔インプラント学会・大阪）

2012 年 10 月（臨床画像大会・大阪）

委員が個別に上記 ～ の作業

～ についてメール審議

委員会を開催し ・ を決定

改訂暫定版の公表・意見聴取

外部評価

web ならびに一般公表

意見聴取